

「川崎病に関する研究」研究報告書

吉本 敬 （市立札幌病院病理）

川崎病患児16例の末梢リンパ球について、短期培養を行い、電顕的観察を施行した。内4例について tubuloreticular structure を認めた。多くの症例について、細胞内外に少数のウイルス様小粒子を認めたが、決定的な意味付けは困難であった。今後は病変組織、皮膚、リンパ節などのリンパ球について、蛍光抗体法によるマーカーの検索を行い、川崎病としての免疫担当細胞の動態の特異性の検索、それらから IL-2 依存性、及び HTLV-I の superinfection による長期培養株の樹立を試み、患者血清との蛍光抗体法による反応性の検討、電顕によるウイルスをはじめとする感染微生物の存在の可能性について検討する。